

令和2年度 第3回 鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会 会議録 (概要)

日 時 令和2年10月16日(金)午後2時00分から午後3時10分

場 所 鎌ヶ谷市役所地下1階 団体研修室

出席者 黒岩史郎会長、菊地謙副会長、渡辺浩隆委員、菅野麻希委員、金子あかり委員、
松見和樹委員、松村桂子委員、小川洋委員、高木由美子委員、櫻澤美智子委員、
飯高優子委員、會澤奈穂子委員、石塚友子委員、三浦健委員、
林宏幸委員(鎌ヶ谷市社会福祉課長)、館岡文委員(鎌ヶ谷市健康増進課主幹)
欠席者 江間由紀夫委員、井手勝則委員、山本幸子委員、西出信夫委員、勝又和久委員

事務局 (障がい福祉課)星野里香課長、井上隆課長補佐、中村浩主査補、鈴木俊雄、
(鎌ヶ谷市基幹相談支援センターえがお)渡辺恵美子所長、久保田貴子
(株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所)新橋明奈、山下淳也

公開・非公開の区分 公開

傍聴者 0名

添付資料

式次第

資料1

- ① 協議会の組織図
- ② 鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会委員名簿
- ③ 計画の概要と期間
- ④ 協議会の日程と計画策定スケジュール

資料2

- ・ <素案>第3期鎌ヶ谷市障がい者計画、第6期鎌ヶ谷市障がい福祉計画・第2期鎌ヶ谷市障がい児福祉計画

その他(当日配布)

- ・ オンライン会議運営人材育成プロジェクト研修 第1講 実施報告

<本日の傍聴人及び会議の出席状況について>

事務局より、出席者数が会議開催の定足数である「委員の過半数の出席」を満たしていること及び傍聴者が0名であること、また、下記のとおり委員の変更があった旨報告した。

旧			新	
氏名	所属		氏名	所属
山根 清孝	医療法人梨香会 自立支援センター	→	菅野 麻希	医療法人梨香会 自立支援センター
早坂 ひとみ	千葉県膠原病友の会	→	勝又 和久	脊柱靭帯骨化症千葉県患者会

「第3期鎌ヶ谷市障がい者計画」「第6期鎌ヶ谷市障がい福祉計画・第2期鎌ヶ谷市障がい児福祉計画」の素案について

事務局から資料1・資料2を基に説明を行った。

- ・計画の概要と期間
- ・<素案>第3期鎌ヶ谷市障がい者計画、第6期鎌ヶ谷市障がい福祉計画・第2期鎌ヶ谷市障がい児福祉計画

会長

只今の説明についての質疑応答を行いたいと思うが、内容が多岐にわたり、量も多いので、3つに分けて質疑応答を行いたい。まずは、第1部「総論」と第2部「第3期鎌ヶ谷市障がい者計画」の第1章、第2章について質疑を行いたい。基本的に前回検討したところであるが、何か質問はあるか。

委員（質問なし）

会長

質問がないようなので、続いて第2部の第3章「施策の展開」について、資料2の23ページ以降33ページまでについて質疑を行いたい。何か質問はあるか。

委員

資料2の23ページ、施策1-1「相談支援体制の充実」の取組、「(2)障がい者相談員の周知」だが、その内容として「市内の障がい者相談員について周知に努め、活用を推進します」と書かれているが、現状はどのように周知しているのか具体的に教えていただきたい。

事務局

障がい者相談員については、まず市ホームページに掲載し広く市民に周知している。また、障害者手帳を取得された方にお渡しする、「障がい者福祉のしおり」の中にも記載しており、窓口で手帳をお渡しする際には、担当のケースワーカーから相談先としてご案内させていただいている。

委員

以前は市広報紙にも障がい者相談員のことが掲載されていたと思う、ここ何年かはないような気がする。それについてはどうか。

事務局

以前掲載していたのかどうかの確認はこの場ではできないが、現状では市広報紙には掲載していない。以前掲載していたかの確認もしたいと思うが、市広報紙への掲載も周知方法の一つとして検討していきたい。

委員

ここ2～3年は載っていないようだ。よろしく願います。

会長

ほかに何かあるか。

委員

資料2素案の27ページ、施策2-2「生活の場の確保」の取組、「(1)グループホーム整備促進」だが、その内容として「グループホームの整備促進を図ります」と記載されている。これは具体的にどういったことを想定しているのか知りたいと思う。

事務局

グループホーム事業者に対する運営費補助や、入居される方への家賃補助を促進していければと考えている。

委員

既存の事業の継続で、新たな事業をするわけではないということか。

事務局

現時点で新たな事業は想定していない。

会長

ほかに何かあるか。

委員

「障がい」の“がい”の字の表記について。鎌ヶ谷市では、法律名や制度名などは漢字をそのまま使って表記し、それ以外の部分は“がい”をひらがなで表記しているのだと思う。ひらがなにすべきところが漢字になっているところがあるので統一してもらいたい。

事務局

承知した。

会長

続いて資料2の33ページ以降、第3部「第6期鎌ヶ谷市障がい福祉計画・第2期鎌ヶ谷市障がい児福祉計画」について質問はあるか。

会長

これは要望になるが、資料2の41ページの「③同行援護」について、利用を希望している人数に対してヘルパーの数が全然追いついていないという印象を受ける。事業者の撤退などもあったので、人的資源の不足ということも含めて配慮してもらえたらと思う。

また資料2の67ページ、「②地域の相談支援体制の強化」の見込み量として人材育成の支援回数が年間1回となっているが、これは具体的にはどのようなイメージなのか。

事務局

令和3年度から基幹相談支援センターと協力して、相談支援に関わる研修を年1回行いたいと考えている。その回数になる。

会長

ほかになければ、素案についての質疑応答はこれで終了とする。

テーマ別チームの編成について

下記2点について地域連携部会から提案があったため事務局から説明を行った。

(1) テーマ(地域課題)とチーム編成について

課題収集のためのアンケート調査などを踏まえたうえで、新型コロナウイルスへの警戒が続いていること、旧チームからの継続課題が残っていることなどを考慮して、今回は旧チームのテーマを継続し6チーム体制として検討を再開したい。なお、アンケート調査の意見から急遽プロジェクトチームとして設置した「オンライン会議運営人材育成プロジェクト」を含めると7チーム体制となる。

チームメンバーについても、旧チームからの継続を基本としメンバーの入れ替えや新規参加については柔軟に対応したい。

(2) チームの設置期間について

原則、チームは年度制としているが、今年度は残りの期間が短いので、令和3年度も含めた期間としたい。

会長

昨年度までは、かなりの頻度で各チームを開催し活発な議論が交わされていたが、今年度はコロナの影響でアンケートによる課題収集のみとなり、ワークショップ自体は開催できなかった。事務局から説明があったとおり、とりあえずは今のメンバーとチーム構成、令和3年度までのスパンで継続させてもらいたいということだが、これについてご承認いただける方は挙手をお願いしたいと思う。いかがか。

(挙手多数)

挙手多数ということで、承認された。

その他

事務局から当日配布資料を基に報告を行った。

(1) オンライン会議人材育成プロジェクトについて

資料のとおり報告した。

(2) オンライン研修の可能性について

「障がい分野の情報を発信・啓発するチーム」が中心となって企画し、昨年度末の3月に開催予定で直前に新型インフルエンザ拡大の影響で中止になった鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会の研修について、旧チームリーダーより今後の研修の開催についてオンラインでの開催の可能性についても検討してみてもどうかとの提案があった。地域連携部会でも本会議に提案することとなったので、この点についてご意見をいただきたい。

会長

今の件に関して質疑等あるか。よろしいか。

こういう状況なので、会議のオンライン化が各分野で始まっている。オンライン研修については、今後チームで可能性を探っていくことになる。

今説明があったオンライン研修の可能性の検討について、ご承認いただける方は挙手をお願いしたいと思う。いかがか。

(挙手多数)

挙手多数ということで、承認された。

本日の議事はこれで全て終了となるが、何かほかにあるか。なければこれで閉会とさせていただきます。

以上、会議の経過を記録し、相違ないことを証するため次に署名する。

令和2年11月30日

氏 名 飯高 優子 _____

氏 名 會澤 奈穂子 _____